

国立市立国立第四小学校 令和2年度 第4学年 授業改善プラン

教科	観点	課題	具体的な手立て・改善策
国語	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の定着が十分でない児童がいる。</li> <li>・文章全体を捉え、キーワードとなる語に着目できていない児童がいる。</li> <li>・主語・述語、修飾語・被修飾語の関係を正しく捉えられていない児童がいる。</li> <li>・教師や友達の話を書く時に、しっかりと目を見て耳を傾けて聞くことができていない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10問テストなどのミニテストを定期的に行い、漢字の習熟度を高める。</li> <li>・読み取りの学習で、キーワードとなる語に着目させながら音読をさせる。</li> <li>・主語・述語、修飾語・被修飾語の関係を意識しながら作文を書かせる。</li> <li>・よい聞き方ができている児童を賞賛しながら全員が話を聞けるように声かけをしていく。</li> </ul>
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
社会	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都道府県の位置や名称を正しく理解できていない児童がいる。</li> <li>・資料や図を適切に選んだり、読み取ったりすることができていない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都道府県クイズ作りをして、都道府県の位置や名称を特徴とともに意欲的に覚えられるようにする。</li> <li>・複数の資料や図、グラフを提示して適切な情報を選んで考える機会を増やす。</li> </ul>
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
算数	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わり算の筆算の技能が十分でない児童がいる。</li> <li>・分度器を正しく使えず、180度を超える大きさの角や三角形の作図ができない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2けたでわるわり算の学習前に習熟を図る時間を設ける。</li> <li>・角度を測る前には、90度、180度、270度より大きい小さいかを予測させる。</li> </ul>
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
理科	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験や観察は意欲的に行うが、その結果から考えることが苦手な児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察や実験から導き出された結果を表やグラフに整理して比較することから、分かったことをまとめさせる。</li> </ul>
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
音楽	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拍にのってリズムを打つことが苦手な児童がいる。</li> <li>・リズムアンサンブルにおけるオリジナル表現の部分において、自分の思いや考えをもつことが苦手な児童がいる。</li> <li>・鑑賞において、感じたことを音楽的な特徴と関連付けて理解することに課題がある児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リズム打ちを常時活動に組み込むことで技能の向上を図る。</li> <li>・たくさんのリズムを授業で紹介し、児童が様々な体験することで表現の幅を広げられるようにする。また、友達がつくったリズムも真似て表現をしたり、鑑賞したりする場面の設定を行う。</li> <li>・「強弱」や「速さ」など音楽を形づくる要素を掲示するなどして日常的に意識させる。</li> </ul>
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
図画工作	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しく作品に取り組むが、集中力が持続しない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な支援や声掛けを行い児童に見通しをもたせ、作品づくりに向かわせる。</li> </ul>
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
体育	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体全体を連動させた動きが苦手な児童がいる。</li> <li>・器械運動やボールゲームにおいて、用具の扱いなどの技能面が身に付いていない児童がいる。</li> <li>・勝ち負けにこだわりすぎる児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーショントレーニングや体づくり運動を通して、体の多様な動きを身に付けさせる。</li> <li>・学習カードや映像資料で動きのポイントを示したり、児童が見つけたコツを共有する時間を作ったりする。</li> <li>・自分のためだけでなく、友達やチームのために考えることの大切さを指導する。</li> </ul>
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		